

汚染土壌等の微生物処理技術

概要と特徴

福井沖での旧ソ連タンカーによる重油流出事故処理の過程で金沢大学板垣名誉教授により発見された微生物を用いた汚染土壌等の処理技術。

本石油分解菌は環境放出されても、病原性・日和見性がないため安全使用が可能。使用目的に応じて液体、粉末、ペレット又は担体固定の形で供給する。生育促進物質に、pH調整剤又は各種微生物剤を添加（廃液・排水処理・土壌改良向け）、又はパーライトや活性炭に代表される多孔質物質に担持させる（土壌・河川・海洋向け）。

石油分解菌の製品形態とその用途

製品形態	特 徴	用 途
液体	即性	廃液／排水処理
粉末	持続性維持	排水処理・土壌改善
ペレット	除放性	排水処理・土壌改善
担体固定	環境修復	土壌・河川・海洋向け

用 途

- (1) 汚染された工場跡地の改善
- (2) ガソリンスタンド跡地の土壌改良
- (3) 含油廃水処理剤として

技術移転

- (1) 形 態 特許実施権供与
- (2) 相手先 企業規模不問
- (3) 地 域 国内外いずれでもよい

実用化・情報

[試 作・実 験] 完了
 [製造・販売実績] 無
 [技術情報の提供] パンフレット
 [連絡先] (株)シー・ピー・アール
 〒670-0965
 兵庫県姫路市東延末4丁目102番地
 TEL.0792-88-8009 FAX.0792-88-8660

特許等

国際特許出願中